

個人山行

## 奥秩父：両神山

- ◆日程 2020年11月21日(土)  
 ◆メンバー L: OT  
 ◆天候 晴

埼玉出身なのに埼玉の山には殆ど登ったことが無い。甲武信ヶ岳によく先月登ったくらいである。両神山は岩稜コースである八丁尾根がスリリングで楽しいとのことだ。ついこの前に戸隠や妙義に登ったのでその感覚が残っているうちに一人でチャレンジしたい。それなら雪が降る前の今が好機だと計画した。

未明に自宅を車で出発。八丁尾根への登山口は八丁トンネルの南北二か所にあるが、駐車台数の多い北側は林道崩落で近付けない。そのため早く南側(落合橋)に到着しないと車を停められない恐れがある。そんなときに限って東名高速の集中工事で渋滞だ。着いたのは8時少し前。駐車スペースは殆ど埋まっている。しかし、路肩も合わせると地図に示されたより3倍はスペースがあり、何とかあった。

急いで準備をして歩き始める。初めからヘルメットを着用していたが、八丁尾根に登りついてからが岩場だ。27か所あると言われる鎖が早速出現する。どんなことになるかと警戒したが、杞憂だった。戸隠・妙義の経験が生きた。岩をつかめば十分なところもあるので、鎖と併用だ。心配していた鎖渋滞が殆ど無かったので、次々とクリアして進む。調子が出てきて快調だ。心配したほど上半身にも負担は掛からない。アップダウンを繰り返しながら西岳(1613m)、東岳(1660m)と、ピークをゲットしながら進む。まるでゲームソフトのなんとかブラザーズのような。山頂は狭いうえに他のルートから登ってきた人たちもいるため人口密度が高い。どの山頂からも展望が良く、奥秩父の山々の向こうに富士山や雪を被った北アルプスまで見える。稜線は風が強いが、飛ばされるほどではなく寒くもない。つまり、コンディションに恵まれたのだろう、結局CTより大分早く行動できた。この後、翌日登る武尊山の麓まで移動しなければならないので、余裕が生まれたのは嬉しい。

みなかみ町の道の駅に着いたのは暗くなる直前で、運転終盤は睡魔に襲われた。翌日に備えてよく寝ておきたい。早めの夕飯をとり、8時前就寝。車中でも一人なら足を延ばして眠れるので快適だ。

(記: OT)

CT: 自宅 3:50 = (車) = 上落合橋 8:00 - 八丁峠 8:40 - 西岳 9:10 - 東岳 9:40 - 両神山(剣ヶ峰) 10:10/10:20 - 東岳 10:50/11:10 - 西岳 11:40/11:50 - 八丁峠 12:25 - 上落合橋 12:50 = 車 = 道の駅水紀行館(みなかみ町, 泊)

